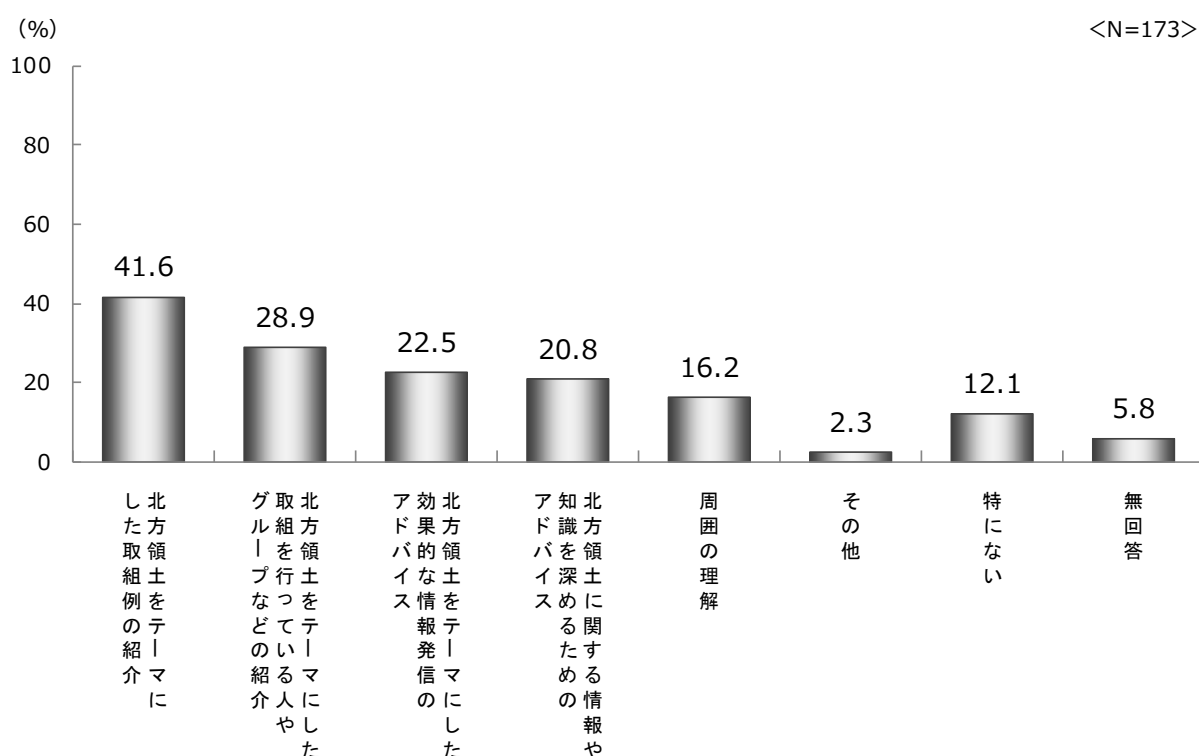


### Ⅲ. 事業参加後に取組を行わなかった理由(b. 事後活動非参加者向け)

#### 2. 北方領土をテーマにした取組の実施につながる可能性のあったサポート (Q13)

取組を行うためのサポートについては、「北方領土をテーマにした取組例の紹介」が最も多く、ここでも情報提供の工夫の課題が窺える。

Q13. 北方領土問題に関する事業に参加した後、このようなサポートがあれば取組を行ったかもしれないというものがあればお答えください。(複数回答可)



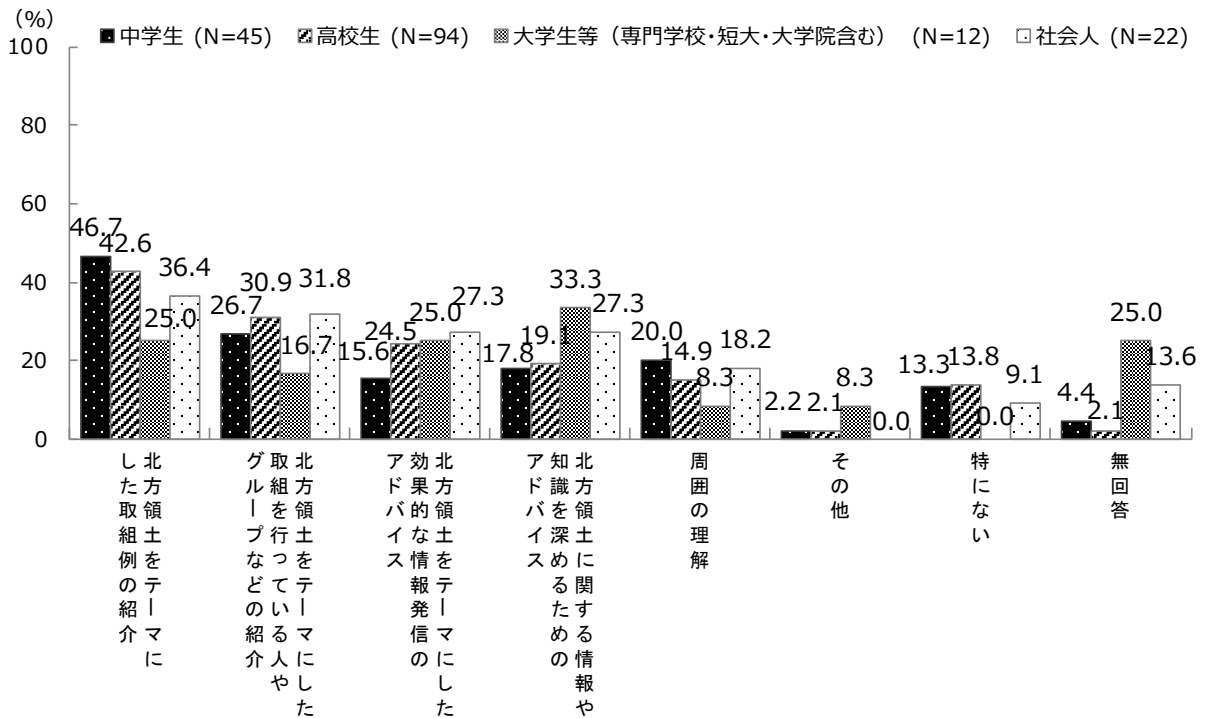
#### <「その他」で回答のあったサポート>

- ・ 交流事業への参加機会の拡充
- ・ ゼミが予定通りあれば発表した
- ・ 参加できそうな事業や情報があったら
- ・ 学校で発表の場をつくってもらふこと
- ・ 以前の研修などで知り合った人たちと、引き続き活動を続けたい

### Ⅲ. 事業参加後に取組を行わなかった理由(b. 事後活動非参加者向け)

職業別に見ると、中学生、高校生、社会人において「北方領土をテーマにした取組例の紹介」の割合が最も多く、特に中学生・高校生は4割に至る。一方、大学生等においては「北方領土に関する情報や知識を深めるためのアドバイス」の割合が最も多く、各層のニーズに応じた情報提供が必要と考えられる。

＜職業別：北方領土をテーマにした取組の実施につながる可能性のあったサポート＞



	全体	北方領土をテーマにした取組例の紹介	北方領土をテーマにした取組を行っている人やグループなどの紹介	北方領土をテーマにした効果的な情報提供のアドバイス	北方領土に関する情報や知識を深めるためのアドバイス	周囲の理解	その他	特になし	無回答
全体	173	41.6%	28.9%	22.5%	20.8%	16.2%	2.3%	12.1%	5.8%
中学生	45	46.7%	26.7%	15.6%	17.8%	20.0%	2.2%	13.3%	4.4%
高校生	94	42.6%	30.9%	24.5%	19.1%	14.9%	2.1%	13.8%	2.1%
大学生等(専門学校・短大・大学院含む)	12	25.0%	16.7%	25.0%	33.3%	8.3%	8.3%	-	25.0%
社会人	22	36.4%	31.8%	27.3%	27.3%	18.2%	-	9.1%	13.6%